

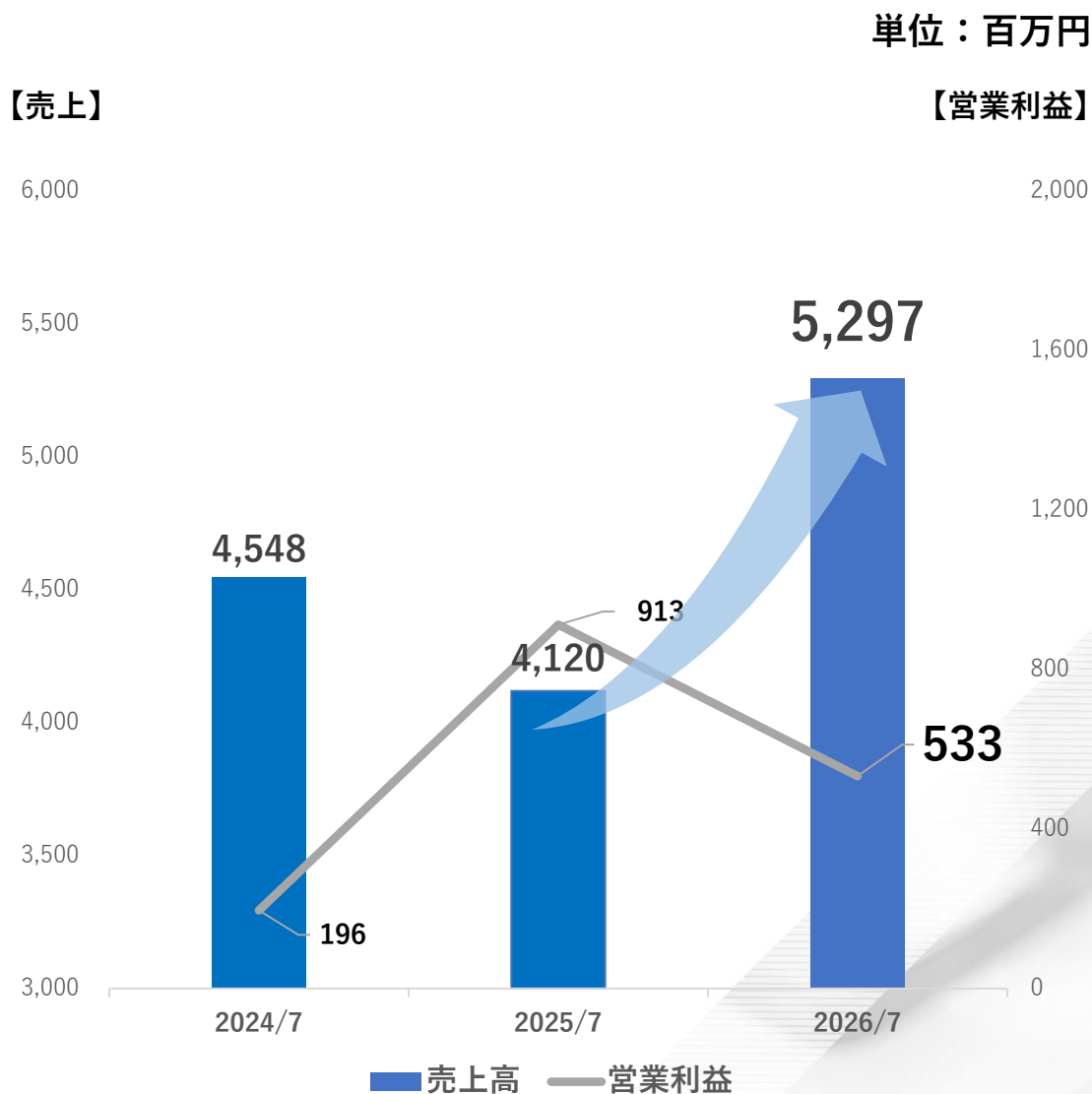
2027年1月期第2四半期決算説明資料

株式会社テクノロジーズ

INNOVATION × TECHNOLOGY

TECHNOLOGIES

証券コード：5248 2026.9.14



第2四半期においては増収で着地

第2四半期は**売上高52.9億円、営業利益5.33億円**となりました。売上については、各事業順調に推移しており+28.5%と大幅に増加しました。営業利益については、前年同期において、大型EPC関連に係る一過性かつ利益率の高い取引があったこと等により、前年同期比で減少しましたが、当中間連結会計期間における業績については、想定通り推移しております。

今後も継続的な成長見込み

ITソリューション事業においては、**エンタメ映像ソフトウェア開発、AI開発**を中心に堅調に推移見込みです。SaaS事業は、顧客獲得の進展により売上高154百万円（**前年同期比154.4%**）と**高成長を継続**。**前年同期に続き増収増益を達成**しており、ストック型収益が確実に積み上がっています。再エネソリューション事業は、蓄電池にかかわる受注を着実に積み上げていることから、今後も**安定した成長**が見込まれます。スポーツDX事業では、主催イベント『GOAT』を2026年5月28日に開催し、今後も継続的な興行の実施を見込んでおります。

再エネソリューション事業について

当期は前年度から本格的に取り組んでいた**蓄電池3件の販売により約20億円を計上**し、再エネ事業全体では前年同期比で増収となりました。なお現段階の進捗におきましては、2026年9月末までに追加で3件の蓄電池物件の引渡（販売）を見込んでいる状況です。

IT関連事業（ITソリューション事業及びSaaS事業）について

ITソリューション事業については、前第2四半期より納品検収が完了している案件が少なかったため、減収しましたが、SaaS事業については**顧客獲得を着実に積み上げている**ことから増収増益となりました。

スポーツDX事業について

スポーツDX事業では、主催イベント『GOAT』を2026年5月28日に開催し、今後も継続的な興行の実施を見込んでおります。

リユーステクノロジー事業の開始について

2026年8月1日より、リユーステクノロジー事業を開始しております。

当中間連結会計期間における主要事業の売上の状況は以下のとおりです。前第2四半期と比較する増収となりましたが、概ね想定どおりの着地となりました。

※2027年1月期の業績予想につきましては、現時点において合理的な業績予想の算定が困難であることから、未定としております。

売上高

5,297百万円
(前年対比128.5%)

営業損益(△は損失)

533百万円
(前年対比58.4%)

ITソリューション事業

売上高 325百万円
(前年対比73.4%)

SaaS事業

売上高 154百万円
(前年対比154.4%)

再エネソリューション事業

売上高 4,730百万円
(前年対比132.2%)

2027年1月期業績予想

売上高 —
営業利益 —

当中間連結会計期間においては、売上高は前年比で増加し、営業利益は533百万円となっており、概ね想定どおりの着地となりました。

※2027年1月期の業績予想につきましては、現時点において合理的な業績予想の算定が困難であることから、未定としております。

単位：千円	2026年1月期 中間期実績	2027年1月期 中間期実績	2027年1月期 計画予想
売上高	4,120,959	5,297,230	—
売上原価	2,360,758	3,719,428	—
売上総利益	1,760,201	1,577,801	—
売上総利益率	42.7%	29.8%	—
営業利益	913,397	533,747	—
営業利益率	22.2%	10.1%	—
経常利益	867,488	342,730	—
中間純利益	559,488	169,525	—
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	147,448	△10,926	—